

問 新型コロナ第2波への 村の備えは

答 「新しい生活様式」を取り入れる



みすずの会
あべ こうし 議員
阿部 功志

問 第2波が来る前に行政として整えておくべきことは。

答 第2波感染を防ぐために「新しい生活様式」を取り入れることが重要。マスク着用、人と人との距離の確保、3密の回避、手洗いの徹底などを継続していく。また、感染者や親族、病院関係者等に差別やいじめのないよう、注意喚起に努める。

問 整えるのは、検査体制、困窮世帯支援策、集団感染対策などでは、東海病院や3密になりやすい老人ホーム



6月2日によく届いた「アベノマスク」

などの社会福祉施設・介護施設の感染防止対策は。
答 東海病院では5月7日から29日まで患者用駐車場に設置のプレハブで発熱者等の診察をした。17日間で146名（内科106名、小児科40名）が受診。社会福祉施設・介護施設等には厚労省からの通知の周知を図り、適切な対応を促している。
問 「アベノマスク」の有効利用に回収箱を設置しては。

答 役場や総合福祉センター「絆」にマスク受け入れ箱があるが、第2波に備えて布製マスクも活用を。

問 コロナ対策を施した避難所運営

答 早急に運営要領を作成し訓練実施



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏

問 避難所運営は、感染者を出さないために感染者と一般の避難者を分け、3密回避を考えること。早急に避難所の運営要領を作成・実践して運営要領を検証する必要がある、いつ頃に訓練を実施するのか。また自主防災組織に避難所運営訓練を指導すべきと考えるが見解を伺う。

答 昨年の台風15号、19号の検証を踏まえた国の防災基本計画の修正が5月29日に終了した。これを受け、地域防災計画の修正のほか、夏頃までには避難所運営要領の作成を終

え、検証を進める。自主防災組織への要領説明や実践を取り入れながら理解促進を図る。
問 住民は災害状況が分からない。まずは、ケーブルTVを備えるべき。また、要支援者や要配慮者に行政の依頼・指示事項が分かり、安否が確認できるようにWi-Fiを普及すべき。
答 有効なものと思料するが、経費のほか停電時の対応が懸念される。新たにヤフー（株）と災害に係る情報発信等に関する協定を締結した。



今後の避難所運営は「3密」対策が必要